

PRESIDENT YACHTS

500 Regiena

Perfect Boat



Ocean Style

オーシャンスタイル・パーフェクトボート

Perfect BOAT

すべてのボートファンに贈る、海とボートのスタイルマガジン

SEP. 2010

オーシャンスタイル・パーフェクトボート
9月号 第8巻 第13号 通巻86号
平成22年9月1日発行 毎月1日発行

定価1500円

9

特集

SUMMER CRUISING

いざ、ニッポンの海旅へ。
夏を満喫するサロンクルーザーたち

IMPRESSION

PRESIDENT 107

PRESIDENT 500 REGIENA

BACK COVE 29

REGAL 4460

瀬戸内に行く

Special Issue

風間トオル、海へ。



Photo story 喜多嶋隆

Thanks for 10 Years

10th Anniversary PB!!

Perfect BOATはおかげさまで10周年!

ホビダス
趣味の総合サイト

www.hobidas.com

Sophisticated Lady



2006年、ポートサイドマリンのプランニングにより日本専用モデルとして誕生した「PRESIDENT 500 REGIENA」。数年来のサロンクルーザーの流行を細かにリサーチし、幾度となくビルダーとディスカッションを繰り返し生まれた50フッターは、多くのボートを乗り継いできた目の肥えたユーザを十分に満足させるだけのクオリティを携えていた。

photo: TAIZO

special thanks: PORT SIDE MARINE Co.

TEL: 045-770-6141

<http://www.portside-marine.com>



PRESIDENT 500 Regiena



クラス以上の優美な気品 女神の名を与えられた Japan Fit Design

遡ること約5年前、PRESIDENT YACHTS 日本総販売元であるポートサイドマリンの保坂氏と、長男 剛史氏の漠然とした会話の中から、「PRESIDENTで日本専用的高级モデルを造ろう」という構想が生まれていた。早速PRESIDENT YACHTSの葉社長にオファーしたところ、もちろん快諾。船舶工学の知識を持つ剛史氏がプロジェクトの責任者となり「PRESIDENT 500 REGIENA (レジーナ)」の建造プロジェクトがスタートした。

ベースに選ばれたモデルは「PRESIDENT 445」。日本にも輸入された実績があり、その走航性能は十分に満足のいくものだった。設計初期段階のレンダリングなどは剛史氏も担当。設計段階ではメールやFAXでのやり取りが多かったものの、いざ建造が始まると毎月の台湾通いとなり、進水前の一ヶ月間はファクトリーに缶詰め状態だったようだ。

ボンツーンに紡われた「PRESIDENT 500 REGIENA」は、ベースモデルが45フィートとは思えないほどボリューム感のあるフォルムを持っている。特にトランサムからの眺めは50フィートクラスを遥かに上回る堂々とした佇まいを見せる。ベースモデルよりウエストラインを伸ばし、高さ・横のサイズをアップした成果だ。外観のデザインは、ウインドウグラフィックやインテーク周辺にシャープなラインを残しつつも、全体に女性的な雰囲気も感じさせる柔らかなラインを多用している。上部構造は全て新設計されており、もともとあったハルのキャラクターラインなども最新のトレンドに沿うようにスッキリとリデザインされた。

スイミングステップとアフトコックピットには台湾ビルダーお得意の分厚いチークが貼り込まれ、クオリティの高さを感じる。大きなスライドドアを開け放せば「500 REGIENA」の最大のセールスポイントとなる美しいサロンが見渡せる。両サイドには縫製などのクオリティも見事な質感



両舷の取手リクライナーのデザインに感銘を受けて、一級船師によるデザインが与えられた。ポートサイドマリンの船師は保坂氏と、PRESIDENT YACHTSの葉社長は、保坂氏が得意先と結ばれた1船師。

We are constantly striving to advance the quality, styling, performance and durability of each President Yacht



50フィートクラス最大級の空間を誇るメインサロン。本革を惜しげもなく使ったソファや、直接触れを恐らすことのない証明が、柔らかく落ち着きのある雰囲気を作り出してくれる。



バウに位置するマスターステートルーム。このクラスとしては珍しく、右舷側にベッドをオフセットさせたレイアウトを持つ。左舷側には、ごく普通の1人掛けのソファが用意されているのだが、ここが何とも言えず心地が良い。



このクラスだと2ヘッドがスタンダードだが、REGIENAは1ヘッドと割り切り、それによって得たスペースをゲストステートルームやギャレいのスペースに有効活用している。日本でのボートライフスタイルを考えた新しいレイアウトだ。



サロンのヘルムステーションはフロアから比較的高い位置にレイアウトされ、サロンクルーザーにありがちな視界不良が最小限に抑えられていて、意の天候不良などには助かる。

PRESIDENT BOAT INTERNATIONAL CO., LTD. MANUFACTURER
No. 151, PINGSHA VILLAGE, JIANGJUN SHIANG, TAINAN HSIEN, TAIWAN , R.O.C.
TEL:886-6-7931793 (8 Lines) FAX:886-6-7930439 or 7930422 <http://www.presidentyachts.com>
E-mail:pml1@ms27.hinet.net or pbi-yachts@umail.hinet.net

ISO 9001

BUREAU VERITAS
Certification





溢れる本革を用いたソファが並ぶ。欧米製のサロンクルーザーには、(体型の違いにもよるのだろうが)座っていても取まりが悪く着かぬソファがよくあるが、このソファはさすがに日本人が設計に携わっただけのことがあり、座面の高さ、奥行き、バックレストの高さに全く違和感を感じることはなく、ゆったりと話し込むことができる。サロン前方のローアデッキには、左舷側にギャレイ、ヘッド&シャワーブース、右舷側にゲストステートルーム、そしてパウにマスターズステートルームがレイアウトされている。

ここで「500 REGIENA」の秘密に気がついた。この船にはヘッド&シャワーブースが1ブースしか備えられていない。2ブース、もしくは3ブースあれば便利だが、その分他のスペースが犠牲になってしまう。相反するテーマだが、ポートサイドマリンでは、日本でのサロンクルーザーの遊びのスタイルを良く研究し、複数のヘッド&シャワーブースを設けるよりも、「女性にも使いやすいよう、広々としてユーティリティに優れ、デザイン的にもセンスあるものをひとつ」との考えからこのレイアウトに決定したそうだ。とかくこのクラスのサロンクルーザーになると何でもかんでも詰め込んでしまいがちだが、この判断は大いに評価すべき点だ。

そのスペースの有効利用の恩恵でもう一点評価すべき点が、2つのステートルームだ。ともに余裕たっぷりのスペースを持ち、窮屈な感じが一切ない。パウのマスターズステートルームのベッドは右舷側にオフセットされ、左舷側に1人掛けのソファが用意された。好みの映画を見るもよし、寝しなに読書に耽るもよし。ただ寝るだけの部屋に留まらず、ここでもサロンとはまた違った寛ぎの時間を満喫することができる。また、ゲストステートルームにもホテル並みのサイズの twin ベッドが用意され、とても50フィートクラスのものとは思えないほどだ。

サロンクルーザーの醍醐味を存分に感じるフライブリッジはオーソドックスなレイアウトを見せる。小気味良いステアリングフィールを感じながらの夏のクルージングは爽快極まりない。搭載されている700馬力を

発揮するCAT C12のパワーも十分。トップスピードは30ノットをマークする。コックピットへの潮風の巻き込みも少ない。設計上は1,000馬力級のパワーユニットも搭載可能とのことなので、さらなるポテンシャルアップも可能だ。取えて気になった点を言うならば、ウィンドウシールドの形状により走航風が少し強めに顔に当たることくらいか。設計段階でもこの形状で相当議論を重ねたらしい。前方に迫り出せば風の当りは弱くなることは十分承知の上で、デザインを優先させてこの形状に決まったようだ。

PRESIDENT YACHTSとPORT SIDE MARINEが贈る、カスタムで楽しむサロンクルーザー。オーナーの嗜好を具現化し、他には真似できない満足感を与えてくれる数少ないサロンクルーザーのひとつであることは間違いないだろう。P.B.



ウィンドウのグラフィックやガンネル上のエアインテークにREGIENAのアイデンティティを感じ。PRESIDENT 全てに共通する復元性能の高さはこのREGIENAでも健在だ。



開放感溢れるフライブリッジにはU字型のセティが備わり、このクラスの定石通りのレイアウトを持つ。クルージング時でも停泊時でも居心地の良いオープンスペースとなる。



フライブリッジのヘルムコンソールには視認性の良いアナログのゲージ類や航海計器、各種スイッチ類が並ぶ。コンソール自体のデザインにはもう少し色気が欲しいところだ。



アフトコックピットには厚みのあるチーク材が着られている。トランサム側にセティが用意されているが、あとはオーナーの好みでテーブルを置くなど自由にアレンジが可能だ。



ポリウム感溢れるトランサム周りは1クラス上のポートを思わせる。PVCの搭載を前提に造られたスィミングステップは広さも強度も十分。トランサムとの一体感を高めている。



50フィートクラスのサロンクルーザーとは思えないスペースを誇るエンジンルーム。どのモデルにも共通して書えるのだが、PRESIDENTのポートはメンテナンス性に優れている。



SPECIFICATIONS... PRESIDENT 500 REGIENA

全長	14.80m
全幅	4.62m
重量	17,000kg
燃料タンク容量	2,000L
清水タンク容量	600L
エンジン	2 x CAT C-9 (opt: CAT C-12 710HP)
最高出力	2 x 503HP
最高スピード	30knot @C-12
巡航スピード	26knot @C-12
問い合わせ先	ポートサイド
TEL:	045-770-6141
http://	www.portside-marine.com